

報道関係各位

認定特定非営利活動法人 経営支援 NPO クラブ

次世代育成支援活動

健康な森林を保つためにみんなで木を使おう！ 実務の達人が「こども霞が関見学デー」で授業

認定特定非営利活動法人 経営支援 NPO クラブ（事務局：東京都千代田区、理事長：助川英治、以下「NPO クラブ」）は 8 月 3 日（水）、27 府県庁による夏の恒例イベント『こども霞が関見学デー』で、子どもたちに森の恵みや適切な管理、国産材を使う“木づかい”の大切さを学んでもらう環境授業を行いました。NPO クラブの同イベントへの参加は今回が 2 回目となります。

『こども霞が関見学デー』は、文部科学省など霞が関に所在する各省庁等が連携し、小学生～中学生を対象に所管の業務説明や関連業務の展示などを行うイベントで、2000（平成 12）年度から毎年開催されています。



▲文部科学省東館

夏休み中の子どもたちに広く社会を知ってもらうことや、政府の施策に対する理解を深めてもらうこと、体験活動への参加を通じて親子のふれあいを深めてもらうことが目的です。

2022（令和 4）年度は 8 月 3 日（水）・4 日（木）に開かれ、NPO クラブは文部科学省が推進する「土曜学習応援団」の一員として、3 日に同省東館 5 階の 2 会議室で授業を実施しました。新型コロナウイルスの感染拡大の影響が懸念されましたが、ほぼ予定人数の小学 1 年生～5 年生までの児童 9 名、及び保護者 8 名の計 17 名が参加しました。

当日の授業内容や時間、講師・スタッフ等の詳細は下の通りです。



プログラム名

『私たちの地球と森林・林業』

～木工グッズとのふれあいや制作を通して、林業・木の大切さ、すばらしさを知ろう！～

時間

14 時 50 分～ 15 時 40 分（50 分）

内容

- ①環境授業～『地球と森林・林業』／②木工制作体験～「ちょぼきんばこ」を作ってみよう！
／③林業・木工に関わるグッズふれあい体験

講師・スタッフ

経営支援 NPO クラブ 4 名／(有)野火止製作所 2 名

レポート ①環境授業～『地球と森林・林業』

NPO クラブのスタッフが先生となり、森林からもたらされるたくさんの恵み(二酸化炭素の吸収・酸素の放出、木材や食糧の生産の場、生きものの生息・生育の場、良質な水を育む、土砂災害を防ぐ等)や、国土に占める森林の割合(国別森林率)で日本が世界2位(OECD加盟35カ国)の緑あふれる国であることを紹介。森林には自然に形成される「天然林」と人手で管理する「人工林」があり、日本では4割近くを占める人工林の維持のために林業が行われていることを説明しました。

林業には大きく「植える」「育てる」「伐る」「使う」という作業があり、50～60年かけて繰り返すことで大きな太い木を育てます。しかし現在、国産材が使われる機会はめっきり減り、サイクルがうまく回せずに荒れたまま放置される森林が増えている状況です。

一方、日本では戦後たくさんの木が植えられ、まさに今、伐り時を迎えています。

「さまざまな恵みを与えてくれる健康な森林を保っていくために、みなさんも木のものをなるべく使ってください」と“木づかい”の大切さを伝え、子どもたちに木の折り紙「折り樹」をプレゼントしました。

▼「折り樹」をプレゼント!



レポート ②木工制作体験～『ちょぼきんばこ』を作ってみよう!

木工制作体験では、キットを提供してくれた精密板金・レーザー加工業の野火止製作所(埼玉県新座市)のスタッフが指導に当たりました。『ちょぼきんばこ』とは、「ちょきんばこ(貯金箱)」と「ぼきんばこ(募金箱)」を合わせた造語。大切なお小遣いを少しずつ貯めて、地震などの災害で困っている人のために役立ててほしいという、同社の想いが込められています。

『ちょぼきんばこ』の特徴は、箱の背に立つ板に取り付けられた4つのレール。上からコインを転がすと、ピンポン玉のように左右に転がりながら箱に落ちる仕組みで、子どもたちの遊び心をくすぐります。レールなどの部品は木工用ボンドで接着し、サインペンやマスキングテープで自由にデザインすると、世界にたった一つの『ちょぼきんばこ』が完成! みんな一生懸命『ちょぼきんばこ』作りに取り組んだので、授業の最後に野火止製作所スタッフから『工作の達人認定書』が全員に進呈されました。



▲「工作の達人認定書」を進呈

レポート ③林業・木工に関わるグッズふれあい体験

教室後方に展示コーナーを設け、珍しい木工グッズの数々を子どもたちや保護者に自由に触ってもらいました。展示したのは鹿の角やヒバの木質チップ、琉球音階を奏でる国産材の木琴、ラテン音楽で使われる打楽器のギロなど。特に人気だったのは北海道の山林で発見された鹿の角で、持った子どもたちは想像以上の重さに驚きの声を上げていました。

ほかにも、ヒバの木質チップを手にとりて感触を確かめたり、かぐわしい匂いをかいでみたりなど、参加親子は思い思いに“木”について学んでいました。



参加した保護者、スタッフの声

<保護者>

- 木とふれあうテーマに惹かれて応募した。子どもが楽しいかなと思って。
- 娘が学校で森林をテーマにした自由研究に取り組むことになり申し込んだ。大変ためになり、勉強になった。
- 最初の説明がとてもわかりやすかった。親としてはよかった。
- シニアの方々がこういう啓発活動をしているのはとてもいい。

<スタッフ>

- 新型コロナの影響でキャンセルが出ると思ったが、うちのプログラムだけなかった。高い人気があったということで、非常にうれしく思っております。
- 鹿の角、みんな興味津々で持っていました。北海道から送ってもらってよかった。



▲スタッフの集合写真

環境授業では保護者も熱心に聞き入る姿が多く、木工制作体験も親子で楽しむ姿が印象に残った今回の授業。子どもたちが楽しみながら学べるだけでなく、親が子に受けさせたい出前授業としての評価も得たという手応えを感じました。次世代を担う子どもたちがNPOクラブの授業を通じて森林環境に関心を寄せ、自分にできることを自発的に考え、行動に移してもらえたらと期待が膨らみます。

NPOクラブは「中小企業の販路開拓支援」とともに、「次世代育成支援」も活動理念の一つに掲げており、小中学生向けの土曜学習応援団活動、高校生向けのキャリア教育の相談・支援、大学・大学院向けのリレー講座・ワークショップ・インターンシップ紹介などに取り組んでいます。

本年、NPOクラブは設立20周年の節目を迎えました。これからも実務経験豊富な“人財”たちの知識やノウハウ、人脈、情報収集力をフルに発揮し、学校と社会の橋渡しとしてのキャリア支援活動をさらに推進してまいります。

<本件に関する問い合わせ先>

認定特定非営利活動法人 経営支援 NPO クラブ
広報チーム 担当：井料、宇川 TEL:03-5577-6785
<https://www.ka-npo.com/>



寄付金募集中!

NPOクラブでは
「寄付金募集活動」
を展開中です。
ぜひ、皆さまのお力添えを
お願い致します。